

俳句に音楽を♪

— 日本の音階を使って旋律づくり パートⅡ —

教科等横断的単元

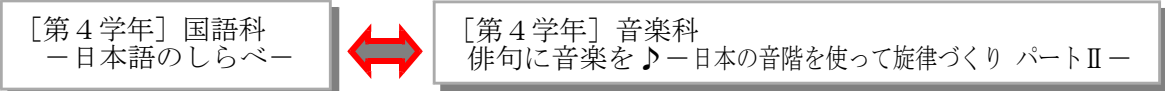
4年音楽科・国語科 9月 29Q〈7時間〉
 附属新潟小学校 教諭 佐藤 史人

1 **本題材で目指す姿**
 音楽を形づくっている要素の特徴を生かした表し方を考え、俳句に込めたイメージに合った旋律をつくる子ども
 具体的には、音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素（音階、音色、リズム、旋律、強弱、反復、呼びかけとこたえ、変化）とその働きの視点でとらえ、自己のイメージや感情、生活や文化等と関連付けるという「見方・考え方」を働かせ、即興的に表現することをおして音楽づくりの発想を得る力（音楽科②思考力・判断力・表現力）を発揮して旋律を工夫し、俳句に込めたイメージに合った旋律をつくる姿。

2 **本題材で育成する資質・能力（評価基準）**

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素（音階、音色、旋律、強弱、反復、呼びかけとこたえ、変化）の働きについて、実感を伴って理解される知識 ○音楽づくりの知識・技能（音の響きや組合せの特徴の気付き、音やフレーズのつなげ方の特徴の気付き、条件に基づいた即興的な表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を形づくっている要素（音階、音色、旋律、強弱、反復、呼びかけとこたえ、変化）を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じとりながら、即興的に表現することをおして、音楽づくりの発想を得る力 	<ul style="list-style-type: none"> ○俳句に込めたイメージを表す音楽に進んでかかわり、協働して音楽活動しようとする態度 ○進んで日本の音楽に親しもうとする態度
国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○俳句を音読して、言葉の響きやリズムをとらえる技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○書き方などの表現を工夫する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国の言語文化に親しむ態度

3 **関連する学習**



4 **題材の計画**

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
国語科 (次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋の俳句を読んで味わう。 ○ 秋の俳句をつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 季語と五七五のリズムでつくろう。 ・ つなげてリレー俳句にしよう <p style="text-align: center;">★国語科①②③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 秋の俳句に合う音楽をつくって表現したいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○ 秋を表す言葉や言葉のリズムを五七五で考えようまく俳句が出来る。 ★国語科① 「指先に とまってくれた 赤とんぼ」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本の秋を表現する俳句を提示し、季語や情景を問う。 ◆ 教師がつくった秋の俳句を提示し、感想を問う。 ※ イメージマップを配付する。 ※ 短冊を配付し、自作の俳句を書かせる。 	6Q 2時間
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平調子で俳句に合う旋律をつくる。 ・ 俳句に合う旋律を箏でつくろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ これまでの学習（口唱歌、グループ演奏）を生かして表現を工夫することを伝 	

- ・ここはコロリンで表現しよう。
- ・グループで旋律をつなげてみよう。
- 2つのモデルを聴き比べ、音階や旋律の違いを聴き取る。
- 問いをもつ。
- ・モデルBで演奏すると音が変わる。

○ **私も乃木調子で音楽をつくりたい。**
★音楽科③

- 音楽づくりの見通しをもつ。
- ・乃木調子で旋律をつくってみたい。
- 音楽づくりをする。
- ・平調子と乃木調子を弾いて、感じを比べてみよう。

○ **相談して平調子の演奏と乃木調子の演奏を混ぜてみたい。** ★音楽科③
○ **俳句のイメージに合わせて乃木調子で旋律を変えてみよう。** ★音楽科②
○ **イメージが変わったから俳句の言葉を変えたい。** ★国語科②

- 互いの工夫点や改善点に気付く。
- ・乃木調子の雰囲気と新しい俳句は合っているね。

○ **リレーした俳句の最後が平調子で暗い感じだった。最後が乃木調子でもよいと思うよ。**
★協働性

- 作品をよりよくする視点をもつ。
- ・最後の音をゆっくり演奏したり、後奏を入れたりしたらもっと雰囲気が出ると思いました。
- 互いの工夫点や改善点を生かして、音楽づくりする。
- ・赤とんぼがみんなで空に向かって飛ぶイメージなんだよな。

○ **最後の「赤とんぼ」を、ゆっくり高い音で表現してみよう。** ★音楽科②
○ **俳句のイメージが変わったから言葉を少し変えようかな。** ★国語科②
○ **録画を確認しよう。** ★ツール活用能力

- 音楽づくりで発揮した資質・能力を自覚する。
- ・音楽作品を発表する。
- ・振り返りシートを書く。

○ **私は、初めに『指先に とまってくれた 赤とんぼ』という俳句をつくりました。赤とんぼが友達になってくれた感じをコロリンを使って平調子で表現できました。次に、乃木調子で演奏してみたら、旋律の音が明るい雰囲気に変わり、赤とんぼがみんなと一緒に空に飛んでいくようなイメージがわきました。そこで、『また明日 みんなと帰る 赤とんぼ』と、新しい俳句をつくりました。そして、最後の音を高く伸ばすように変えて、夕焼け空に飛んでいくように表現しました。後奏でシャシャテンテンを入れて遠くに飛んでいく雰囲気を出しました。どちらも演奏したら俳句が物語のようになりました。**
★音楽科, 国語科①②

える。

◆ **平調子でつくった音楽のモデルを乃木調子で演奏して提示し、乃木調子を試奏する時間を設定した後、感じたことを問う。** 【働き掛け1】

- ※ モデルA(平調子), モデルB(乃木調子)を箏で演奏して聴かせる。
- ※ 乃木調子に合わせた箏と爪を配付する。

◆ **どんな表現の工夫ができそうかと問い、音楽づくりの時間を設定する。** 【働き掛け2】

- ※ 事前に学習シートを配付しておく。

◆ **中間発表会を設定し、気付いたことを問うた後、再び音楽づくりの時間を設定する。** 【働き掛け3】

- ※ 学習シートと付箋紙を配付する。

- ※ 出された工夫点や改善点を全体で共有できるように整理し、板書する。

◆ **完成発表会を設定し、音楽作品の特徴を振り返りシートに記述させる。** 【働き掛け4】